

# 伊予三島ロータリークラブ



伊予三島RC30周年記念時計塔  
伊予三島運動公園「産土の塔」

- \* 2015 - 6月号ロータリーの友に、「ロータリーとは何ですか？」と聞かれたら「ロータリアンは例会に出席することで、奉仕の心（思いやりの心）を学びます。その心を持ったロータリアンが、自分の職業を通じて世の中に貢献していく、これがロータリーの目指すところです。」と100点満点の答えをしてくれています。
- \* 「国際ロータリー」は世界初の奉仕クラブ団体であり、200以上の国と地域に33,000近くのクラブを擁し、会員数は120万人以上である。職業奉仕（会員の職業倫理を高めること）と、そこから広がる社会奉仕と国際親善を目的とする。基本的には「I serve; 私は奉仕する」、クラブとは「奉仕をするクラブ会員であるロータリアン個人の集まり」であり、国際ロータリーはそのクラブの連合体とされているが、個人のみならずクラブ単位や国際ロータリーとしての奉仕プログラムも行われている。
- \* ライオンズクラブは、世界最大の社会奉仕団体「ライオンズクラブ国際協会」に所属する単位クラブ。社会奉仕活動をロータリークラブ（国際ロータリー）のように職域や個人で行うだけでなく、チームワークを発揮して行うことによって、有意義な効果をあげるように組織された団体である。
- \* ライオンズクラブが奉仕活動を行う時は「我々は奉仕する（We serve）」。すなわちクラブ全体でまとまって一つの事業に基金を拠出します。原則として個人個人では奉仕しません。
- \* ロータリークラブは、全員がまとまって行う奉仕活動も沢山ありますが、基本的には「会員一人一人が奉仕活動の単位」です。すなわち、「私は奉仕する（I serve）」「自己の責任と判断において、自分の職業を通じて、社会に、世界に奉仕しよう」という考え方が基本となっています。

以上

## インターアクトクラブ年次大会報告

青少年奉仕委員会 曾我孝志

8月1日～8月2日の日程で、2015年度～2016年度第2670地区インターアクトクラブ年次大会が、八幡浜高校インターアクトクラブの主管で、大洲にある国立青少年交流の家で開催されました。中野会長と一緒に初日のプログラムに参加しました。

今回の大会には、第2670地区の19校のインターアクトクラブの内、16校から顧問の先生を含む164名が参加していました。



当ロータリークラブが提唱する三島高校インターアクトクラブからは、顧問の大西裕美先生と川上優香会長以下12名の1年生の女性クラブ会員が参加しました。

受付終了後、昼食を済ませ、午後からのオリエンテーションからスタートする1日目のプログラムに参加しました。

今回のテーマは「ふるさと深呼吸」でした。

誰もが安心して自分たちの故郷で暮らしていくことができるように、私達にできることは何か、どのような支援をしていけばよいかを考えるきっかけになる会にしていきたいと考えて、このテーマにしたということでした。

開会行事は、ロータリークラブの地区大会の進行に準じて行われましたが、進行は八幡浜高校インターアクトクラブの会員が担当しました。

基調講演は「地球に暮らす私たち」と言う演題で、JICA四国愛媛デスク国際協力推進員の

## 世界へのプレゼントになろう



2015～2016年度国際ロータリー会長

No. 6  
平成 27.8.7  
第 2946 回

No. 7  
平成 27.8.14  
第 2947 回  
休 会

## 広 報 委 員 会

委員長 園 部 忠 幸



- 1) ロータリークラブとは何をしている処ですか？
- 2) ロータリークラブとライオンズクラブの違いは何ですか？

等々、地域の方から聞かれることがあると思います。その時に簡潔に、正確に、わかりやすく、説明出来ているでしょうか？在籍年数の少ない会員だけでなく、ベテラン会員の中でも、うまく説明出来ない人もいないのでしょうか？

一般社会の人々に、ロータリークラブとロータリークラブの活動を正しく伝えることは、ロータリーの広報活動の原点だと考えます。その為には、会員一人ひとりが正しくロータリークラブとその活動を理解することが必要です。

藤田かおりさんが、ケニアでのエイズ対策隊員として派遣された時に体験したことをお話されました。藤田かおりさんの話は、6月の会長・幹事会でもお聞きしましたが、その時の内容に新しいことを付け加えて、様々な環境、人種や肌の色に違いはあっても、立っているのは同じ地球である。お互いのことをもっと知り、思いやって生きていく必要がある。その為には、どの様なことができるのかを考えて下さいという内容でお話をされました。

アイスブレイクでは、一人でも多くの会員と友達になって下さいと言うことで、インターアクトクラブの会員が周りの会員と自己紹介をしあって、自己紹介の輪が広がっていました。

続いて、八幡浜市に伝わる和太鼓集団・雅組の演奏があり、勇壮な太鼓の音を堪能しました。演奏後は、インターアクトクラブの会員も混じって実際に太鼓の演奏を楽しみました。

私たちはここで帰宅しましたが、その後は、12班のグループに分かれてのグループディスカッションが行われました。グループディスカッションは、愛媛県に滞在している外国人の方がアドバイザーとして加わり、「現地の人々が必要としている支援のあり方」についてをテーマに意見交換がされたようです。

三島高校の生徒は12名だったので、1名ずつに分かれてグループディスカッションに積極的に参加したと思います。

グループディスカッションは夕食を挟んで2時間行われ、その後全体会議が行われた様です。全体会議終了後は、入浴と交流でお互いの交流を十分に深めることができたのではないかと思います。

2日目は肱川でのカヌーを体験をして、楽しい時間を過ごした様です。

参加した生徒さんから感想文をいただきましたので、紹介します。



## インターアクト年次大会に参加して

### 1年 鈴木 虹花

今回初めて年次大会に参加した。様々なプログラムが用意されており、とても楽しく充実した二日間を送ることができた。特に印象に残っていることは、グループディスカッションだ。私の班のアドバイザーは台湾からの留学生だった。台湾での生活や支援についての話を聞いたり、班のメンバーと「私たちができる支援とは」というテーマについて、内容の濃い話し合いができた。意見交換でいろいろなことを知り、自分自身がひとまわり成長できたのではないかと感じている。

この大会に参加して、私が吸収したことをたくさんの人に知ってもらいたい。そして、これからはこのような活動に積極的に参加していきたい。

### 1年 日野 真菜羽

この2日間、とても充実した時間を過ごすことができました。基調講演・グループディスカッション・全体会議では、自分自身の知識の幅を広げることができました。アイスブレイク・カヌー体験では、いろいろな方と交流を深めることができ、時間を忘れるほど楽しかったです。言葉では言い尽くせないほどの充実感を感じています。

この2日間の活動を終えた今、いろいろな事を更に知りたいという思いが強くなりました。今回、この年次大会に参加することができて、関わってくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



## 第2946回 例会 記録 平成27年8月7日

開会 中野 哲 会長

来賓紹介

四国中央地区保護司会 会長 井川武重氏  
 (尙)青木蒲鉾店 代表取締役社長 青木良臣氏



井川武重氏

例会行事

広報委員会  
 園部忠幸 委員長

ニコニコ紹介

石川 勉君～孫の菜野が、先日大洲で開催されました、インターアクトクラブ年次大会に参加させていただき有難うございました。

誕生 祝～

宮崎茂喜君、今村準一君、香川俊二君、篠原唯司君、金崎敏明君、竹本哲也君、園部裕美子様

出席報告

出席会員 (35名中) 31名  
 出席率 88.57%  
 第2944回修正出席率 100%

会長の時間

○誕生日お祝い  
 宮崎茂喜君 (6日)、今村準一君 (8日)  
 香川俊二君 (12日)、森川教義君 (15日)  
 篠原唯司君 (18日)、金崎敏明君 (23日)  
 加地 清君 (27日)、竹本哲也君 (30日)  
 園部裕美子様 (15日)、

幹事報告

・例会変更通知  
 (新居浜南)  
 日時 8月25日(火) 納涼夜間例会  
 場所 アサヒビール園  
 ・四国中央市国際交流協会～会報誌8、9月号

8月21日プログラム予定

会員 増 強 委 員 会

8月28日プログラム予定

国際奉仕委員会  
 (定例理事会)